

2025年3月期 第3四半期 決算説明資料

ジオマテック株式会社
create coating solutions

2025年 2月7日

第3四半期 業績

単位：百万円	2024.12	2023.12	前年同期比	
	(3Q-FY25)	(3Q-FY24)	増減	増減率
売上高	3,674	3,421	252	7.4%
営業利益	285	▲ 472	757	-
(営業利益率)	7.8%	▲13.8%	-	-
経常利益	337	▲ 399	737	-
四半期純利益	342	▲ 432	775	-
1株当たり 四半期純利益(円)	43.33	▲ 54.68	98.01	-
加工高	3,195	2,891	304	10.5%

※加工高とは、売上高から基板材料費と外注加工費を差し引いた、成膜分の売上（付加価値収入）のことです。
尚、加工高は、当社の管理数値として使用しているもので会計数字とは必ずしも一致しません。

- ◆ 主力製品であるディスプレイパネルは、自動車市場やV R市場向けで受注が堅調に推移
- ◆ 半導体・電子部品は、エネルギーや電子部品向けで受注が増加
- ◆ 前期に実施した減損損失により、減価償却費が減少

財務概要

単位：百万円	2024.12	2024.3	増減
流動資産	12,239	10,587	1,652
現金及び預金	3,755	3,691	63
受取手形及び売掛金	4,812	3,981	830
電子記録債権	582	560	21
棚卸資産	3,015	2,173	841
その他	73	179	▲ 105
固定資産	4,828	4,597	231
有形固定資産	2,190	2,069	120
無形固定資産	154	151	3
投資その他の資産	2,483	2,376	107
合計	17,068	15,184	1,883

単位：百万円	2024.12	2024.3	増減
負債	8,065	6,531	1,533
支払手形及び買掛金	4,950	3,612	1,338
借入金等	2,273	2,161	112
その他	841	758	83
純資産	9,002	8,652	349
株主資本	8,639	8,296	342
評価・換算差額等	363	355	7
合計	17,068	15,184	1,883

自己資本比率	52.7%	57.0%	▲4.2pt
1株あたり純資産(円)	1,138.08	1,093.84	44.24

◆ 資産合計 1,883百万円増加

主な増加要因： 棚卸資産（841百万円）、受取手形及び売掛金（830百万円）、有形固定資産のうち建設仮勘定（217百万円）

主な減少要因： -

◆ 負債合計 1,533百万円増加

主な増加要因： 支払手形及び買掛金（1,338百万円）、長期借入金（112百万円）

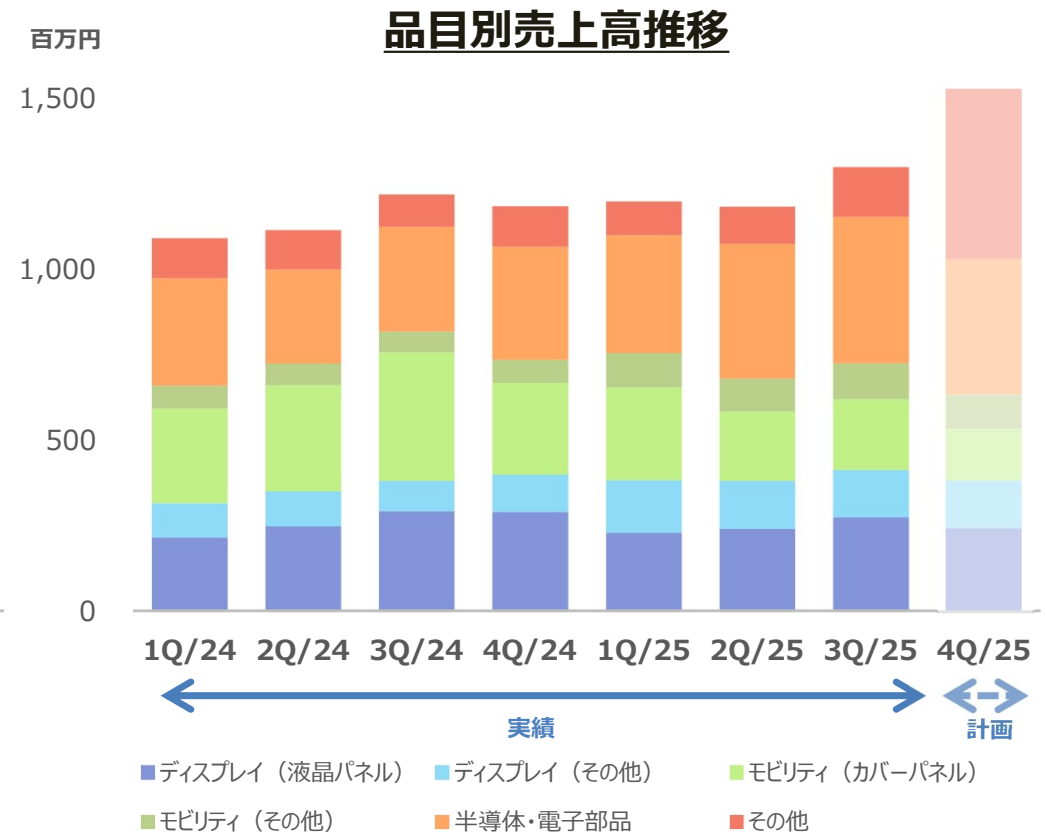
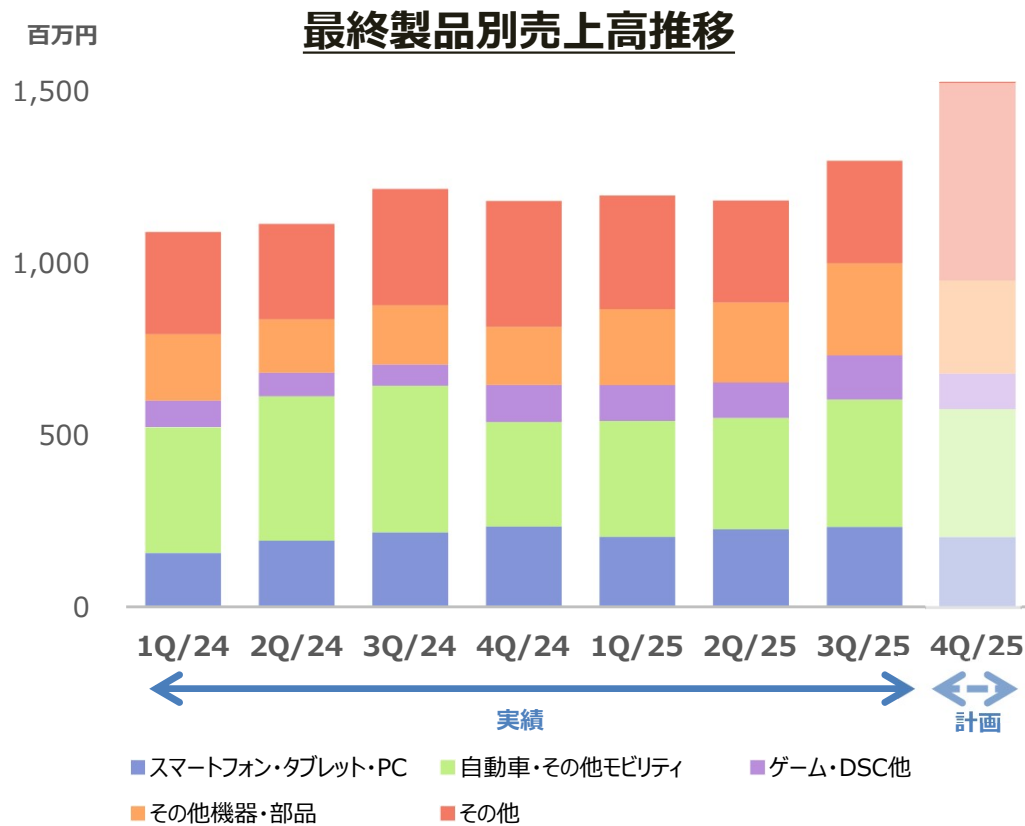
主な減少要因： -

◆ 純資産合計 349百万円増加

主な増加要因： 利益剰余金（342百万円）

主な減少要因： -

四半期売上実績



◆ディスプレイ

液晶パネル関連製品の受注は堅調に推移

主な増加要因：

自動車やVR機器向けに液晶パネル関連製品の受注は堅調に推移

◆半導体・電子部品

テストウェハーや次世代エネルギープリンター部品向け受注は引き続き堅調に推移

◆モビリティ

モビリティ向け薄膜製品の受注は減少

主な減少要因：

主力製品である自動車向けカバーパネルにおいて、中国国内における対応車種の販売低迷の影響を受け厳しい状況で推移

◆その他

薄膜関連部材が当第3四半期会計期間において大幅に増加

設備投資や開発投資環境に関連する製品・試作案件の受注は依然低調

2025年3月期 業績見通し

2024年11月1日に公表いたしました2025年3月期の通期業績予想について、最近の業績動向を踏まえ、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

単位：百万円

	2025.3					2024.3
	通期計画	H 1 実績	H 2 計画	前期比		実績
				増減額	増減率	
売上高	5,200	2,377	2,823	595	12.9%	4,605
営業利益	300	91	209	955	-	▲ 655
営業利益率	5.8%	3.8%	7.4%	-	-	▲14.2%
経常利益	350	104	246	902	-	▲ 552
当期純利益	350	112	238	2,019	-	▲ 1,669

加工高	4,100	2,062	2,038	232	6.0%	3,868
研究開発費	300	157	143	14	4.9%	286
設備投資額	1,000	305	695	61	6.5%	939
減価償却費	164	65	99	▲ 179	▲52.2%	343

2025年3月期第3四半期 決算特記事項

営業外収益（為替差益）の計上について

当2025年3月期第3四半期会計期間（2024年10月1日～2024年12月31日）において、外国為替相場の変動により、為替差益 23百万円を計上いたしました。これは主に当社が保有する外貨建資産を期末日為替レートで評価替えしたことにより発生したものであります。その結果、2025年3月期第3四半期累計期間（2024年4月1日～2024年12月31日）の営業外収益（為替差益）は9百万円となりました。

経営環境

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、円安を背景としたインバウンド需要や輸出企業の業績改善など緩やかな回復基調で推移いたしましたが、ウクライナ・中東情勢の長期化による地政学リスクの継続、中国における不動産不況の長期化や消費マインドの低迷、日米金融政策の変更にともなう為替変動による影響が懸念されるなど依然不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社を取り巻く事業環境は、当社の主力製品であるディスプレイパネルが自動車市場やV R市場向けで受注が堅調に推移したこと、また、半導体・電子部品では、エネルギーや電子部品向け受注が増加したことから堅調に推移いたしました。

対処すべき課題

このような経営環境の下、当社が認識している課題と対応策は、次のとおりであります。

1. 既存事業の強化

ディスプレイ、モビリティ、半導体・電子部品関連の3重点品目について、細分化して策定した商材戦略の着実な実行により、需要の発掘及び創造と競争力・収益力の強化を、能動的に進めております。

2. 新規分野の開拓

新規分野で伸ばすコア技術を創出する取り組みと共に、従来の部分加工受託で培った製造技術やノウハウに設備設計といったソリューションとしての価値提供による新たなビジネスモデルの拡張も進めております。

3. リソースの整備

製品化や品質管理のプロセス、更には個々人の業務分析から最適配置まで、全社生産性のワンランク向上の視点にて見直しを進めております。

4. 企業風土の改革

全社ベクトルを合せて上述の対策効果を最大化し経営体質を強化するために、現場での意識改革と同時に、全社員が生き活きと働ける環境を整えるべくマネジメント強化も併せた企業風土改革の取り組みを、継続して進めております。

・ 情報提供の目的

当サイトの目的は、当社への理解を深めていただくことを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。掲載されている情報は、インターネット上で簡便にご参照いただくために作成されたものです。当社は細心の注意を払っておりますが、掲載されている情報には不測の誤りがある可能性があります。当サイトのご利用により、被害・損害が発生したとしても、当社は一切責任を負うものでないことをあらかじめご了承ください。

・ 将来予測に関する考え方

当サイトに掲載されている情報には、当社の計画、予測など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらは、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断および仮定に基づくものであり、既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、当社の業績、事業活動、財務状況は、見通しと大きく異なる場合があります。

・ 投資判断に対する考え方

投資に関する最終的なご決定は、当サイトの情報に全面的に依存することはお控え頂き、ご自身の判断と責任において行われますようお願いいたします。

・ 情報内容変更等の可能性

当サイトまたは当サイト上のコンテンツは、予告なく変更、修正、削除、中断することがあります。当社は、サイトに掲載された情報を更新する義務を負うものではなく、その約束をするものではありません。当サイトのいかなる情報についても、常に最新情報に反映されるものでないことをご了承ください。